帯広市立南町中学校　学校だより　No.7

みなみかぜ

《学校教育目標》　『最大の自己実現』　『最大の社会参加』

令和８年１０月１日（木）
帯広市立南町中学校
校長　今野　典之
TEL　48−3181
http://www.minami.obihiro.ed.jp.index.l.mht

全てが学び！　稲田小での文化祭

真価が問われる文化祭　～ 制約を成長に ～



改修前に全校撮影

９月の５連休が終わり、いよいよ文化祭を迎えます。

体育館を使用できない中、学級合唱や学年発表に向けて、工夫を重ねながら活動を充実させてきました。

文化祭前日・当日は、稲田小学校の体育館をお借りして実施します。

普段とは異なる環境での発表となりますが、これまでの取組の真価が問われる機会でもあります。

見通しをもった準備や取組、そして**臨機応変な対応**。こうした力を発揮し、**制約を成長の機会に変えていく**ことも、今回の**文化祭の大切な学び**です。

一人一人が自分の役割を果たし、仲間と力を合わせながら、今年だからこそできる文化祭を創り上げていくことを期待しています。保護者の皆様にも多くのご協力をお願いすることとなりますが、普段とは違う環境の中で挑戦する子どもたちの姿を、温かく見守っていただければ幸いです。

●稲田小での文化祭について

９月１８日の楽メで配信いたしましたが、
文化祭について改めてお知らせいたします。

●前日（10/2）の動き　　**登校時間　8:00～8:25　（靴袋持参）**

登校場所・下校場所など　学年により違います。(9/18 の楽メをご確認ください)

- **●１年生　登校：稲田小学校　　下校：南町中学校**
- **●２年生　登校：南町中学校　　下校：南町中学校**
  （リハーサルのため稲田小⇔南町中を徒歩で往復移動）
- **●３年生　登校：南町中学校　　下校：稲田小学校**
  （リハーサルのため、稲田小へ徒歩移動）
  （自転車通学生徒は自転車を押して移動）
  （会場の保護者席や照明などの準備をしてから下校です。）

● 文 化 祭 当 日

- **■期　日　　１０月３日（土）　登校時間　8:00～8:25　（靴袋持参）**
- **■場　所　　稲田小学校　体育館**
- **■自転車　　通常時、通学での自転車利用が認められている生徒のみ可**
- **■昼　食　　お弁当持参　（稲田小で食べます）**
- **■下　校　　稲田小から下校します**
  （３年生は閉会式後、写真撮影と椅子の片付けをしてから下校です。）

■保護者駐車場　**徒歩でのご来場に協力ください。（雨天時駐車場使用不可）**
【靴袋持参願います】　**稲田小グランドへは、西側から左折のみ進入できます。**
『南町中学校』及び『農業高校北側』も使用できます

実りの秋！　制約を超えて力を発揮！

学びを力に、未来を切り拓く

～挑戦と積み重ねが成長につながる～

放課後学習会　Power Up ROOM

放課後学習室を開設しました。日常の授業の復習や、自習室として活用しています。千川原先生が室長として丁寧な解説をしてくれています。



（8/28 配信の楽メを参照してください）

- 時間　放課後 50 分程度
- 本人から事前に保護者へ連絡が必要です

市の財政　３年総合　〔９月 15 日〕

市役所の政策推進部財政課の早坂俊哉さんが、本校から３年生に発信してくれました。税と生活の関わりについて、身近な例をもちいて分かりやすく説明いただきました。



子どもたち・学校を支えてくださいます

～保護者、地域との連携～

書道サポーター　〔９月 15 日、９月 24 日〕

畜産大学生の「斉藤実優」さんと「小林玲奈」さんが書道の授業にサポーターとして、お手伝いいただきました。スペシャリストから直接学ぶ貴重な機会をいただきました。



教育実習生

本校の卒業生が、教育実習に来ています。生徒として学校生活を送っていた頃とは異なり、今度は「先生」という立場から学校や生徒を見つめることで、新たな発見があったようです。また、生徒にとっても、少し先の進路を考える上で身近な存在となっています。母校での実習を通して、未来の教員への一歩を踏み出しています。



保護者の声①

学校評価アンケートから

日頃の学校教育に対する温かい励ましや感謝の言葉とともに、様々なご意見・ご提案をいただきました。全てのご意見に対して、学校がそのまま要望を受け入れることは難しいのですが、そこには保護者の皆様が感じている不安や期待、学校への問題提起が含まれています。いただいたご意見の中からいくつかを取り上げ、「学校はどのように受け止めているのか」を連載の形でお伝えします。

❶　厳しい指導についてのご意見

「クラスの騒がしい生徒をもっとしっかり注意してほしい」
「ダメなことはダメと統一して指導してほしい」
「授業を妨げる生徒には、きちんと指導してほしい」

一方で、こんなご意見もありました。

「頭ごなしに怒鳴りつけるのではなく、叱ることはできないのでしょうか」「子どもが萎縮しています」「威圧的な口調で子どもたちに話すことをやめてほしい」

A　学校としては、「毅然と指導すること」と「威圧的に指導すること」は別のものと考えています。学校生活の中では、ルールを守ることや、他者を傷つける行為、学びを妨げる行為について、毅然として指導しなければならない場面があります。もちろん指導の目的は、子どもを怖がらせることではありません。「何を、なぜ指導するのか」を明確にし、一人の生徒への指導が周囲の学びを損なうことにも留意しながら、必要な厳正さと、生徒が安心して学べる環境の両立を目指していきます。

栄光の軌跡

＊　3位以上を掲載します

全十勝秋季中体連大会

□　陸上部
（男子）　４×１００mリレー　１位
　　110mハードル　１位　大場（２年）
　　４００m　２位　品田（２年）
　　走 高 跳　３位　増谷（１年）
（女子）　800m・1500m　３位　酒井（２年）

□　ソフトテニス部
（個人）　男子　優勝　大林・大西（２年）
（団体）　男子　優勝

□　ソフトボール部　優勝　（帯八・札内と合同）

□　アイスホッケー　優勝　（全十勝Ｂ）

帯広市児童生徒読書感想文コンクール

□　中学校の部　優秀賞
　　島田　菜羽（２年）